

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2017年(平成29年)5月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第94号

特定非営利活動法人(NPO法人)  
**21世紀のカンボジアを支援する会**

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao,Khan Por Senchy  
Khan Por Senchy,(Borey Newtown) Phnom Penh  
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 AAC21 [検索](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

【Facebook】 <https://www.facebook.com/aac21.net> [検索](#)

## これで水不足も解消!

水道が発達していないカンボジアの田舎では、池や川が水源になっている。雨水も瓶に貯めて大切に使う。

在日本カンボジア王国大使館(東京都港区赤坂)を通じ、村の池を修復して欲しいとの要請があり現地スタッフが現場を確認したところ、池には水が溜まってなく、再度掘り起こす必要が認められたため、早速工事を開始した。

工事は約1週間で終了、3月9日、その完成を祝う贈呈式が、池があるお寺の敷地内で行われた。式には、第35回「カンボジアふれあいの旅」に参加したメンバーが出席、地元からはウーチ・ポーリッ



贈呈式でテープカットする石川副理事長



修復が終わり、満水になった池



ト外務省副大臣を始めとする多数の要人が出席した。石川桂副理事長(愛知県安城市)と松原睦美さん(函館市)が、池の修復費用を工面してくれた。

松原さんは毎年10年間に亘り、2基の井戸をカンボジアの小学校に提供しているが、今年はその修復に力を貸してくれた。

石川副理事長にも無理を承知でお願いし、資金協力を快諾してくれた。

水道の蛇口をひねると飲める水が出る、それが当たり前の日本だが、そんな国は世界にいくつもなす。多くの国は水不足で、泥水をすすって生きているのが実情である。

## カンボジア王国大使館より昼食会のご招待

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

2月17日(金)、在日本カンボジア王国大使館(東京都港区赤坂)のチア・キムタ大使が、本会の会

員らを大使館に招き、昼食会を開いてくれた。29人が参加した。

カンボジア王国大使館と本会は、2000年に本会が創立してからの長い付き合いだ。特に、昨年亡くなった山本哲朗さん(元理事)が長いこと大使館に勤めておられた関係で、常に大使館と連携し、現地の活動を推進してきた。

初代大使のトウロン・メアリー氏は、今でもプノンペンで時々お会いし、会食する。

決してメジャーとはいえないNGO団体の会員を招いてくれるのは異例のことで、本会への信頼の厚さが伺える。身に余る光栄である。

当日は正午から1時半ころまで、大使館の地下にある大広間で開催、大使の心温まるスピーチのあと、おいしいカンボジア料理を頂き、

お土産まで頂戴した。

カンボジア王国大使館と本会とは、ギブ&テイクの間柄でもある。現地カンボジアへの支援の中で、特に校舎・井戸・遊具・トイレなどの施設の寄贈は、カンボジア王国大使館経由で行われることが多い。大使館の実績にもなっている。

本会としては、大使館のビザ発給所に会報などの資料を置くことで、広報活動に多大な協力を頂いている。



チア・キムタ大使を囲み参加者の皆さんと記念撮影

## カンボジアフェスティバル 2017

開催日時=5月3日(水)、4日(木) 各日10時~19時  
開催場所=代々木公園イベント広場 (東京都渋谷区神南2-1)

飲食店、物販、カンボジア語講座、伝統舞踊ファッションショーなど。本会のブースもあります。

広報活動(チラシ配布など)をお手伝いして下さるボランティアさんを募集中!!  
※詳細は事務局までお問合せ下さい。



昨年度の様子

3月25日、BSフジテレビの旅番組「R旅行社」に、本会が昨年3月に寄贈したソリヤ小学校(コンボンヌプー県オラル郡・生徒数94人)が紹介された。



サッカーに興じる子どもたち

## BSフジの旅番組にソリヤ小学校が登場

## カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

## クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば71年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。 ※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。
- 【会費の用途】: 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の整備代など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。
- 【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)
- 【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

# カンボジアの小学校と村に4つの井戸が完成

3月は、カンボジアの小学校と村に4基の井戸が完成、第35回「カンボジアふれあいの旅」の参加者らが出席し贈呈式が行われた。

すべての井戸にきれいな水が出て、子どもたちや村の住民は心から感謝していた。

これで通算の井戸設置数が298基になり、大台の300基達成まであと2基となった。



3月に完成した井戸の内訳

ネームプレート名	学校・村名	生徒数	所在地(県名)
② 広瀬穂・美保	メープリン小学校	637人	コンボンチャム県
② 平和・かそけしF・川崎3号基	タンクロサン小学校	732人	コンボンチャム県
① 日本棋院 普及功労賞 受賞記念 2017.2.1 寄贈:長崎県 武藤和義・康代	スヴァイブレイ村	3,902人	コンボンチャム県
② 北海道札幌西陵高等学校 ボランティア局	スルン小学校	396人	コンボンチャム県

※通算の井戸設置数(2003年〜)=298基(3月現在)

## 第35回「カンボジアふれあいの旅」

8日は移動日、9日から活動が開始された。

9日は、石川桂さん(副理事長、愛知県安城市)と松原睦美さん(函館市)が資金を提供してくれ、修復が完了した池、及び日本の篤志家が寄贈してくれた自転車(50台)の贈呈式に出席した。

10日は地方の小学校を訪問、井戸の贈呈式及び300人の生徒に学用品を配布した。

11日は支援する里子を訪問。2つの組に分かれ、教育里親さんが支援する里子の家庭を訪問、里子と交流しプレゼントを渡した。

12日は夢ホームを訪問、入園する15人の子どもたちと楽しく交流した。

13日はプノンペン市内観光(午

後は自由行動)、夕方には空港へ向かい、現地解散した。

旅の途中で、体調を崩した参加者が出たが帰国時には回復、全員元気で帰国することができた。

## 上山陽子さんが音楽と遊戯指導

上山陽子さん(奈良県大淀町、法人監事)が2月20日から3月11日までカンボジアに滞在、3月3日〜4日、夢ホームの子どもたちが通う「タメイ小学校」と「タメイ幼稚園」で鍵盤ハーモニカによる音楽指導と遊戯指導を行った。

3月8日からは、帰国まで第35回「カンボジアふれあいの旅」に合流して活動した。



音楽指導する上山陽子さん



夢ホームの子どもたちと(3月12日)

## 児童養護施設夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な環境にある子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。現在10歳〜19歳の15人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しています。

### ふれあいの旅の参加者が訪問

3月12日、第35回「カンボジアふれあいの旅」に参加した皆さんが訪問、子どもたちと楽しく交流した。参加者の平古場正行さん(理事)が、女の子たちに衣料品を寄贈してくれた。同じく参加者の及川英博さん(理事)からも、各人に帽子が寄贈された。その他、日本から預かった沢山の寄贈品をさしあげた。

### 社会福祉省の査察

3年に一度行われる、カンボジア政府・社会福祉省の査察が3月6日に行われた。特に大きな指摘はなかったが、子どもたちの保護のため、池に柵を設けるよう指示あり、早速取り付けを完了した。



## 石川副理事長がトロパントム石川小学校訪問

3月14日、石川桂副理事長(愛知県安城市)が「トロパントム石川小学校」を訪問、子どもたちや住民と懇談した。

石川副理事長が子どもたちに対し、文集作成の提案をしたところ、子どもたちの賛同があった。今回は用紙を配ったので、次回訪問時(7月)までの原稿作成を依頼した。

また、前回(11月)訪問時に撮影した集合写真を住民たちに配布したところ、とても喜んでくれた。



住民や子どもたちと懇談する石川副理事長

## パンクラッチ小学校にトイレ棟が完成

プレイバン県パンクラッチ村にほぼ完成した小学校の校舎は、5月26日に贈呈式を予定しているが、校舎とともに建設したトイレ棟も完成、3月16日、関係者が集い贈呈式が行われた。

贈呈したのは、千田貞四郎さん(岩手県奥州市)と及川弘子さん(同、里親会員)。ご主人の及川英博さん(理事)が代わって式に出席した。



完成したトイレ棟の前であいさつする及川英博理事

## タメイ小学校と平田小学校の絵画交流

3月15日、及川英博理事(岩手県奥州市)が「タメイ小学校」を訪問、「平田小学校」の生徒たちが描いた絵画30点を届けた。「タメイ小学校」からも絵画20点を預かり、及川理事が「平田小学校」に届けた。



日本からの絵画を手にする「タメイ小学校」の生徒

## 大久保けい子さんがぬいぐるみをプレゼント

教育里親さんが支援する里子にプレゼントや手紙などを届けるため訪問すると、近所の子どもたちが自然に集まってくる。里子がプレゼントを受け取るのを羨ましがりに覗き見するため、対策として鈴やぬいぐるみを沢山持参し、差し上げている。

3月は、大久保けい子さん(東京都北区、会員)がぬいぐるみを寄贈してくれ、村の子どもたちにも喜んでいた。



初めてのぬいぐるみ

## 國學院大學「優志」の皆さんがカンボジア訪問

2月22日〜3月8日、國學院大學国際協力サークル「優志」の皆さん(5人)がカンボジアを訪問、本会が寄贈したエミ小学校、同中学校とソリヤ小学校を中心に、衛生に関する授業を行った。2月26日には夢ホームを訪問、子どもたちと交流した。



夢ホームの子どもたちと(2月26日)

## 自転車(50台)を寄贈

3月9日、池修復の贈呈式を行ったが、併せて自転車(50台)の贈呈式も行った。

池のあるスラスプリン村(コンボンチャム県バーティ郡)の貧しい各家庭に1台ずつ寄贈した。自転車代金は、日本の篤志家が捻出してくれた。

村の子どもたちは、中古だがしっかりとっている自転車をもらい、大喜びしていた。



手を合わせて感謝する村の子どもたち

# クメール教育里親基金活動レポート

本会は、病気や事故、親の離婚などにより親または片親を失い、かつ貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学べるようにと、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約400人の子どもたちを教育支援している。

3月11日、第35回「カンボジアふれあいの旅」に参加した教育里親さんが支援する里子の家を訪問した。初めて里子に会った方、何度も訪問している方など様々だが、里子に会ってプレゼントを渡し、しばし交流の時を持った。

3月18日、20日は、日本で教育里



集まってきた近所の子どもたちにアメやぬいぐるみを差し上げた

親さんから預かったプレゼントを10人の子どもたちに届けた。その他の里子プレゼントは、現地スタッフが後日届けた。(根岸記)

## 教育里子へのプレゼントについてお願い

### ●里子へプレゼントを届ける方法は2つです

- ①現地(カンボジア)購入  
本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、教育里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。
- 自転車(大人用・中古品) 8,000円
  - お米(50kg) 5,000円
  - Tシャツ・サンダルセット(Tシャツ2枚&ぞうり1足) 2,000円
  - 本セット(絵本2冊/中学生以上は英語辞書1冊) 1,000円
  - お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) 1,000円

②日本から持参  
現物を練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。

## 投稿 将来は教師になりたい [ロン・アノッチ]

私はロン・アノッチといいます。昨年11月にチュレイホープナヴ高校を卒業、現在はプノンペン市内の大学で会計学を学んでいます。4年制の夜間大学です。

大学の寮に入り、昼間は時計を売ってアルバイトしています。

日本の里親さんには小学5年の頃から教育支援を受け、今も生活支援して頂いています。

ここまでこられたのも、日本の教育里親さんのおかげです。今は会計の勉強をしています。将来は教師になる夢を持っています。



しかし、教師になるための専門学校は昼間でアルバイトが難しく、授業料も高いので、しばらくお金を貯めてから挑戦します。

## 第15回定期総会を開催

3月26日(日)、練馬区立「練馬文化センター」会議室にて第15回定期総会を開催、12人の会員が集った。

集まった会員は少数だったが、委任状が会員総数の過半数を超えていて総会は無事成立することができた。

例年の通り、昨年度の事業報告(決算)、今年度の事業計画(予算)、定款変更案等について審議、満場一致で承認可決した。

議事のあと、スクリーンで本会の活動状況を映し、理解を求めた。

最後に、カンボジア人留学生、ヤエム・ヴィボルさん(男性)とプー・ソティアロットさん(女性)を囲み、現地での生活や日本での暮らしについて話した。



カンボジアの実情を説明するカンボジア人の留学生ヤエム・ヴィボルさん

## 投稿 カンボ爺ヤに告ぐ 今 紀子

1年半ぶりにカンボジアを訪れた。プノンペンの空港が立派になり、光り輝いていた。

何より感動したのは、車道の舗装である。デコボコ道が快適になり、土ぼこりも心なしかおとなしくなった。目ざましい発展ぶりだ。

しかし、我が「夢ホーム」も負けてはいない。何人かの卒業生は、アルバイトをしながら大学に通っている。すばらしい功績である。

ところが何と、久々にたずねた夢ホームのトイレの汚れ放題には絶句した。まるで掃除の形跡が見えない。外部の方が見学に来ることもあるだろう。まことに恥ずかしい限りである。

勉学は、子どもたちの権利である。

そして住居を清潔に保つのは、子どもたちの義務なのである。大きい子は、小さい子を諭しながら、共に自分たちの城を守っていかねければならない。さい配を振るうのは誰か。

ある有名なバレリーナが、修業時代は踊りのテクニックよりも、生活全般について厳しくしつけられたと語っていた。

舞台上、優雅に美しく踊る舞姫も一度もトイレの掃除をせずに、夢ホームを卒業することがあってはならぬ。

今こそ我々爺婆が憎まれ役を買ってやる時期なのである。

立ち上げられ、カンボ爺ヤ!

(東京都渋谷区・会員)

## 石川副理事長が2つの小学校で講演

石川桂副理事長(愛知県安城市)が地元2つの小学校で講演した。

2月8日、安城市内の「東部小学校」で6年生(71人)を対象に講演、途上国支援について理解を求めた。

2月28日には、同市内の「梨の里小学校」で6年生(78人)を対象に講演、カンボジア支援の在り方について話した。

生徒たちに、それぞれの名前の一文字を彫って作ったはんこを贈った。



東部小学校で講演する石川副理事長

# ウオツチ カンボジア

**砂糖ヤシの木の樹液を煮込み**  
カンボジアの村にある砂糖ヤシの木から取れる樹液を煮込み、沸騰させて砂糖を作る現場を初めて見た。このように水分を沸騰させると、砂糖ができる。観光客向けに市場でも売っている。

**二宮金次郎の像がうさぎに**  
高年齢世代には懐かしい、二宮金次郎の像、最近小学校では見かけなくなったが、カンボジアの小学校でうさぎに変身して復活していた?!カンボジアの小学校校庭には動物をかたどった置き物が多く、干支の動物が代表的。



**カンボジアスタイルの火葬場**  
村を回っていると、お葬式をしていく。火葬場は村の広場、太陽の下でご遺体を火葬していた。日本のような火葬場はなく、ごく自然な形がカンボジアスタイルだ。



**カシューナッツの実**  
カンボジアの名産物といえばカシューナッツ、お土産として好評だ。同じ豆類だが落花生は土の下、カシューナッツは、こんな形で木から垂れ下がっているのだ。一つの実に一つの種、だから高価なのだ。



**トクトクに子どもが30人**  
夢ホームの子どもたちが通う「タメイ小学校」では、授業が終わるとトクトクで帰宅する。何と30人もの子どもたちが1台のトクトクに乗っていた。子どもは軽いからOKとのこと。



**一年中咲いているひまわり**  
日本では夏しか見られないが、常夏の国カンボジアは、ひまわりが一年中咲いている。朝顔も一年中咲いている。



二本松ロータリークラブが2つの小学校に遊具を寄贈

4月3日〜6日、二本松ロータリークラブ(福島県二本松市、法人会員の皆さん(7人)がカンボジアを訪問した。カンボジアに着いた3日の夕方に...



ソリヤ小学校で行われた遊具贈呈式(4月5日)

校舎がほしい子どもたちの悲痛な叫び声を聞いてください

人里離れた辺境の村に校舎を希望している小学校があると聞き、3月20日に訪問してきた。プノンペンから車で約3時間、あたり...



木造の家を借りて授業

トウツサナー・カンボジア

カンボジアでは横断歩道はほとんどないが、あってもないのと同じである。ところがコンボンスプー県の「夢ホーム」へ行く...



トで作られているようだ。(中野勝、兵庫県宝塚市・理事)

《夢ホーム》第31回鑄造によるアクセサリー作り技術講習会
榎戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は隔月にカンボジアを訪問し、夢ホームや近隣に住む子どもたちを対象に、アクセサリー作りの技術講習会を開いている。...



講習会の様子

定期総会の返信はがきに記されたコメントの一部を紹介いたします
2回に渡り定期総会の返信はがきにご記入いただきましたご意見、ご感想を掲載させていただきます。...

活動に参加しませんか
ボランティアとして
学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。...

会員懇親会のご案内
5月3日(水・祝)、カンボジアフェスティバル(代々木公園イベント広場)終了後、午後6時から、近くのレストランにて、慰労を兼ね会員懇親会を開きます。...

成田空港⇄プノンペン空港間に直行便が就航しました
「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・井戸の贈呈式、学用品配布など
第36回カンボジアふれあいの旅 参加者募集
本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どもの交流をはかることができます。...

家庭が貧しく学校へいけないカンボジアの子どもたちをサポートしてください

## クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々が貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校にすら行けない子どもたちがたくさんおります。

特定非営利活動法人（NPO）『21世紀のカンボジアを支援する会』では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる教育里親さんを募集しております。

思えば71年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助してくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

2016年8月現在、コンポンスプー県内などの28の小学校、及び児童養護施設を通じて約390人の子どもたちを教育支援しています。



【小学校で学ぶカンボジアの男子】

【年会費】 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入（毎月、年3回、年2回）のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の使途】 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームの運営、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙（日本語に翻訳）と写真が届きます。

【里子との交流】 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。

※現地で暮らす里子に会いに行くための旅行も年3回実施しております。  
※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。  
※里親の皆さんには隔月発行の会報「アンコールワット」をお送いたします。

お問い合わせ・お申し込み

特定非営利活動法人（NPO）『21世紀のカンボジアを支援する会』（里親係）へ  
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 TEL：03-3991-2854 FAX：03-3557-1213  
E-mail：info@aac21.net HP：http://www.aac21.net

きりとり

### クメール教育里親会員申込書

平成 年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	※個人でお申込みの方はお住いのご住所、団体でお申込みの方は団体の所在地をご記入ください		
	〒 電話		
サポートする子どもの数	人	希望する性別	1. 男の子 2. 女の子 3. どちらでもよい
年会費	1. 一括納入 2. 分割納入	備考	

申し込み書の部分を切り取ってご郵送くださるか、FAXしてください。

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203 FAX：03-3557-1213

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

# クメール教育里親会員募集



**ヴィット・ナリンくん**  
(男の子・2010年生まれ)

コンボンスプー県プレイトム小学校 2年生  
母親のみ(父親離婚)/4人姉弟の3番目  
学校まで徒歩15分/趣味はサッカー



**ルット・カローくん**  
(男の子・2011年生まれ)

コンボンスプー県プレイトム小学校 2年生  
母親のみ(父親離婚)/ひとりっ子  
学校まで徒歩15分/趣味は読書



**ラミー・デヴィットくん**  
(男の子・2011年生まれ)

コンボンスプー県プレイトム小学校 2年生  
母親のみ(父親離婚)/2人兄弟の1番目  
学校まで徒歩7分/趣味はサッカー



**モオン・ポンティアくん**  
(男の子・2009年生まれ)

コンボンスプー県ノラローム小学校 2年生  
母親のみ(父親離婚)/4人兄弟の4番目  
学校まで徒歩20分/趣味は絵を描くこと



**ヒム・リザーちゃん**  
(女の子・2008年生まれ)

コンボンスプー県ノラローム小学校 3年生  
父親のみ(母親離婚)/2人兄妹の2番目  
学校まで徒歩15分/趣味は読書



**ホーン・ドーンセットくん**  
(男の子・2008年生まれ)

コンボンスプー県ノラローム小学校 3年生  
母親のみ(父親離婚)/3人兄弟の1番目  
学校まで徒歩20分/趣味はサッカー



**ルム・ソックトリアくん**  
(男の子・2007年生まれ)

コンボンスプー県ノラローム小学校 4年生  
母親のみ(父親離婚)/5人兄弟の5番目  
学校まで徒歩20分/趣味はサッカー



**カン・ダヴィットくん**  
(男の子・2006年生まれ)

コンボンスプー県ノラローム小学校 4年生  
母親のみ(父親離婚)/2人兄妹の1番目  
学校まで徒歩20分/趣味は読書



**ソーイ・ソックヘンちゃん**  
(女の子・2006年生まれ)

コンボンスプー県ノラローム小学校 4年生  
母親のみ(父親離婚)/2人姉妹の1番目  
学校まで徒歩25分/絵本が好きです



**オン・ソティアラーくん**  
(男の子・2008年生まれ)

コンボンスプー県トロパンクエク小学校 4年生  
母親のみ(父親離婚)/2人兄弟の1番目  
学校まで徒歩20分/趣味はサッカー



**ローズ・ピサルくん**  
(男の子・2005年生まれ)

コンボンスプー県トロパンクエク小学校 4年生  
父親のみ(母親離婚)/4人姉弟の2番目  
学校まで徒歩20分/趣味はサッカー



**ソック・スレイソーちゃん**  
(女の子・2007年生まれ)

コンボンスプー県トロパンクエク小学校 4年生  
母親のみ(父親離婚)/2人姉妹の1番目  
学校まで徒歩20分/絵を描くこと

## お問い合わせ

特定非営利活動法人(NPO 法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 2-25-7-203

TEL : 03-3991-2854 FAX : 03-3557-1213

E-mail : info@aac21.net HP : http://www.aac21.net